

最近の経済動向

平成31年2月号

北海道の景気動向(平成30年12月の経済指標を中心として)

緩やかに持ち直している

■ 鉱工業生産動向

P 1 生産活動(鉱工業生産指数)
緩やかに持ち直している

■ 需要動向(消費・投資)

P 2 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、
P 3~4 専門量販店販売額、新車登録台数)
回復している

P 4 住宅建設(新設住宅着工戸数)
弱い動きとなっている

P 4~5 公共工事(公共工事請負金額)
減少している

P 5 観光(来道者数)
回復している

P 6 輸出入(輸出入額)
輸出額は前年を下回り、輸入額は前年を上回った

■ 企業倒産

P 6 企業倒産(件数、負債総額)
倒産件数、負債総額とも減少した

■ 雇用動向

P 7 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)
改善が進む中、人手不足感がみられる

P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

■ 物価動向

P 7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を上回った

■ 企業の業況感

P 8 企業経営者意識調査
前期から上昇している

■ 企業情報

P 9 企業のみなさまから伺いました

■ 地域の経済動向

P 11 道南地域、道央地域、道北地域、オホーツク地域、十勝地域、釧路・根室地域

■ 景気動向指数

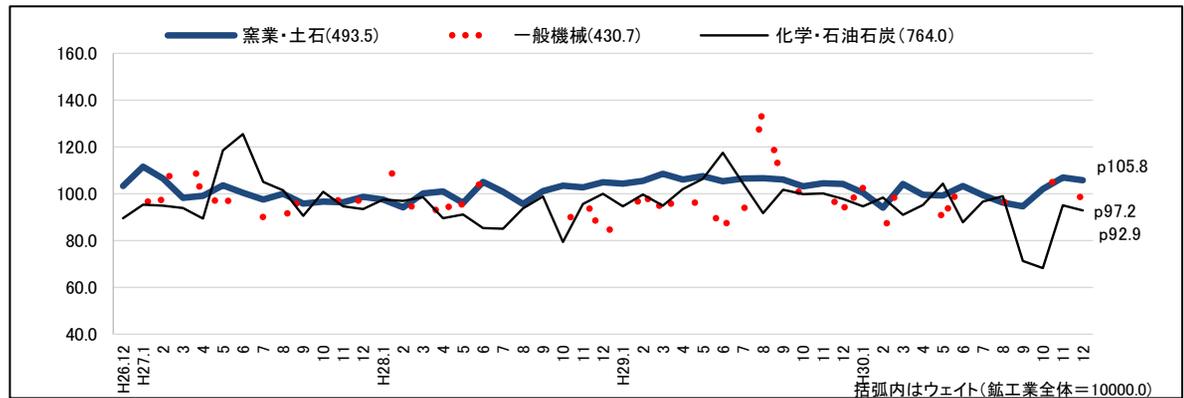
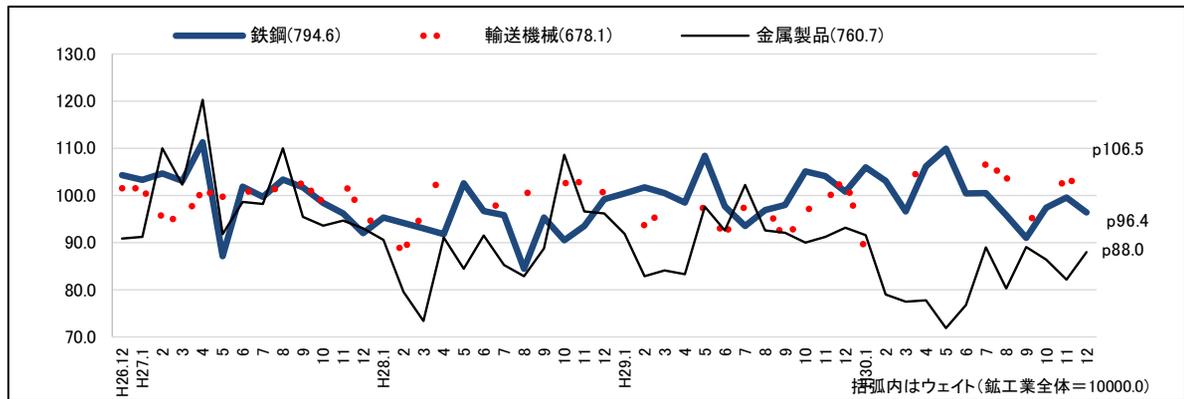
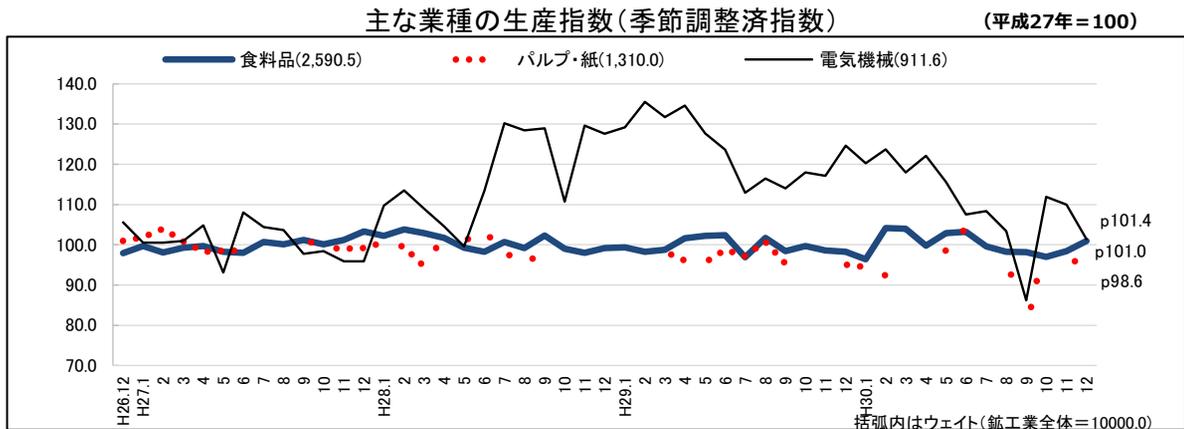
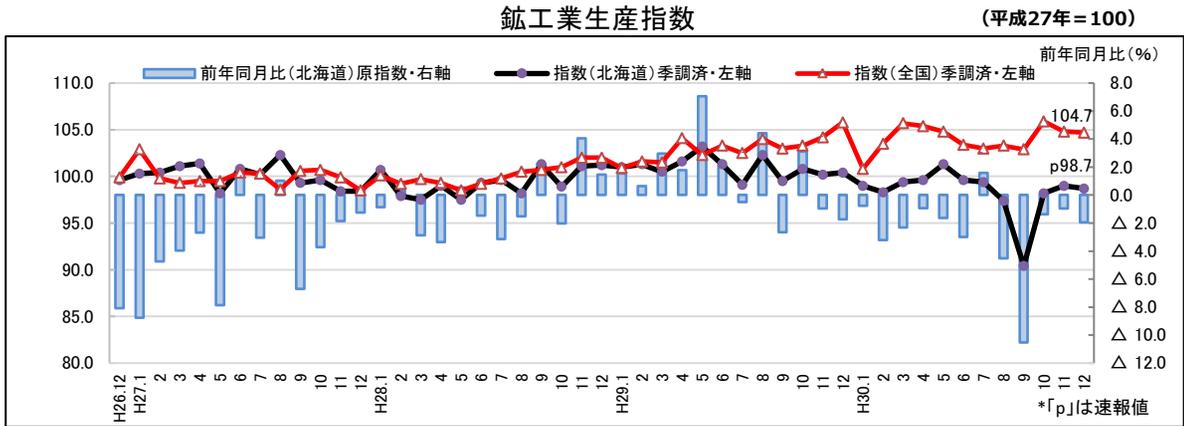
P 17 北海道の景気動向指数

北海道経済部経済企画局経済企画課

■生産活動～緩やかに持ち直している

鉱工業生産指数（12月）

鉱工業生産指数(季節調整済)は、98.7で前月比 Δ 0.3%(3か月ぶりの低下)であり、原指数による前年同月比は、 Δ 2.0%(5か月連続の低下)となった。業種別にみると、電気機械工業など10業種が前月比低下、金属製品工業など5業種が前月比上昇となった。



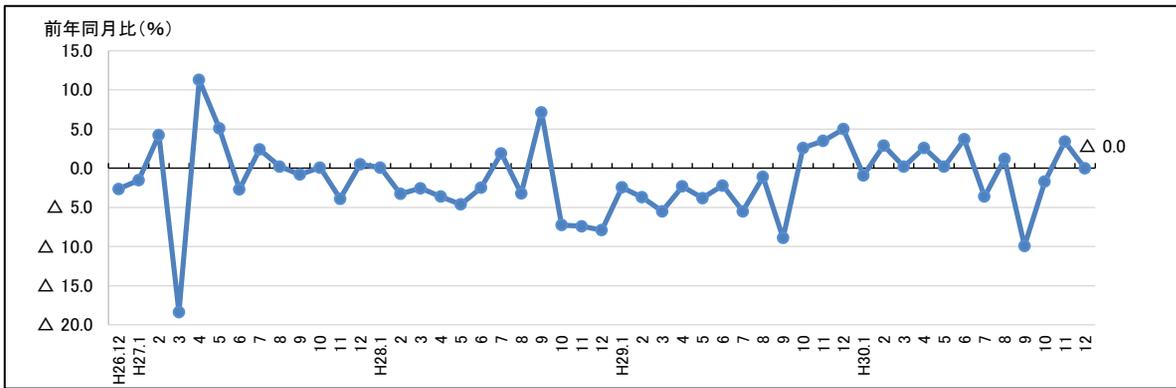
(資料: 北海道経済産業局)

■個人消費～回復している

百貨店販売額(全店ベース)(12月)

百貨店販売額は、236億円で前年同月比0.0%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。品目別にみると、衣料品、身の回り品、その他は前年を上回ったものの、飲食料品は前年を下回った。

百貨店販売額の前年同月比【全店ベース】

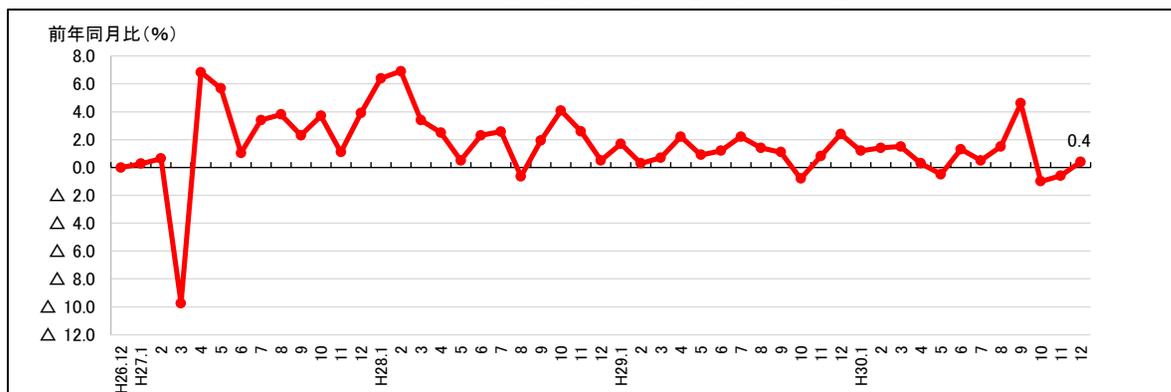


(資料：北海道経済産業局)

スーパー販売額(全店ベース)(12月)

スーパー販売額は、807億円で前年同月比0.4%の増加となり、3か月ぶりに前年を上回った。品目別にみると、衣料品、身の回り品、飲食料品、その他のすべての品目で前年を上回った。

スーパー販売額の前年同月比【全店ベース】

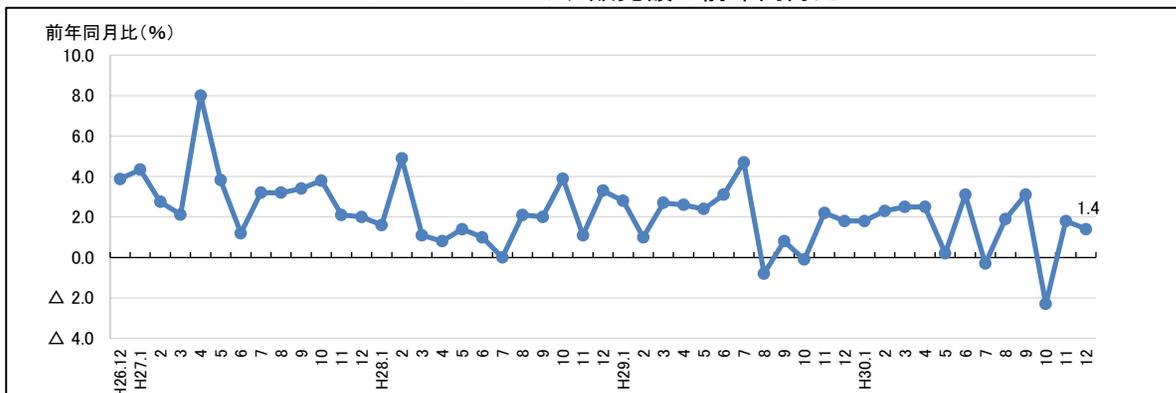


(資料：経済産業省)

コンビニエンスストア販売額 (12月)

コンビニエンスストア販売額は、507億円で前年同月比1.4%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。

コンビニエンスストア販売額の前年同月比

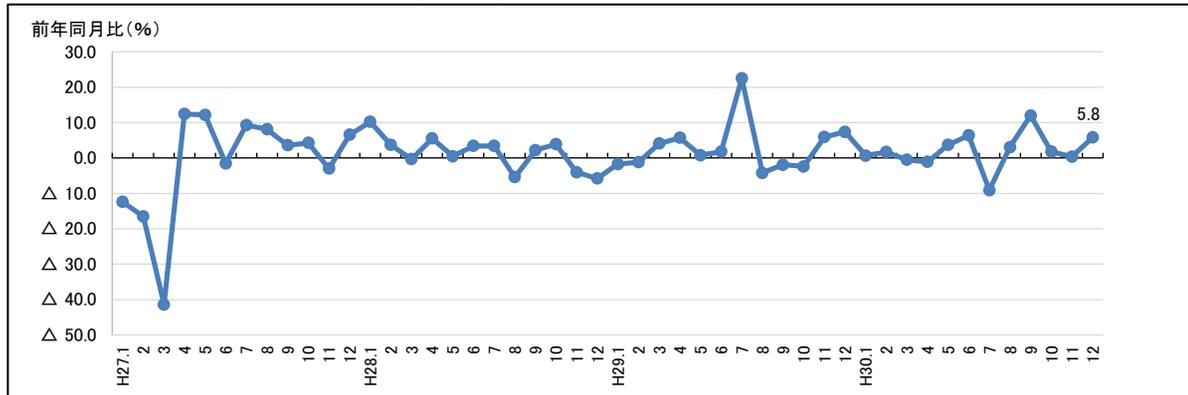


(資料：経済産業省)

家電大型専門店(12月)

家電大型専門店販売額は、163億円で前年同月比5.8%の増加となり、5か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額の前年同月比

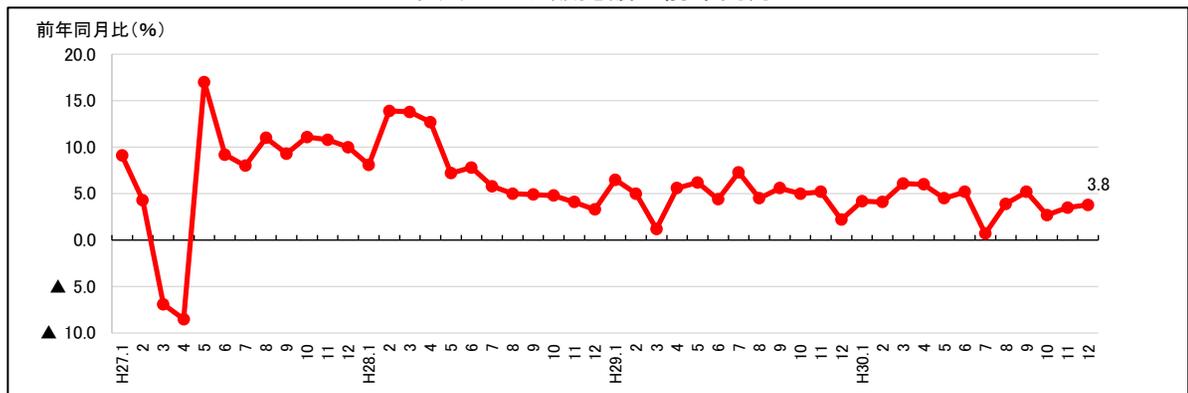


(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額(12月)

ドラッグストア販売額は、227億円で前年同月比3.8%の増加となり、44か月連続で前年を上回った。

ドラッグストア販売額の前年同月比

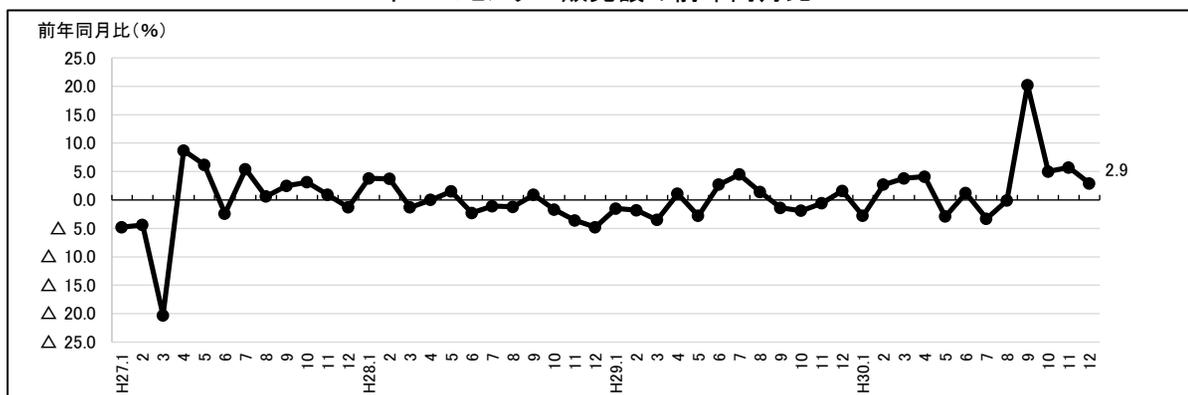


(資料：経済産業省)

ホームセンター(12月)

ホームセンター販売額は、138億円で前年同月比2.9%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。

ホームセンター販売額の前年同月比

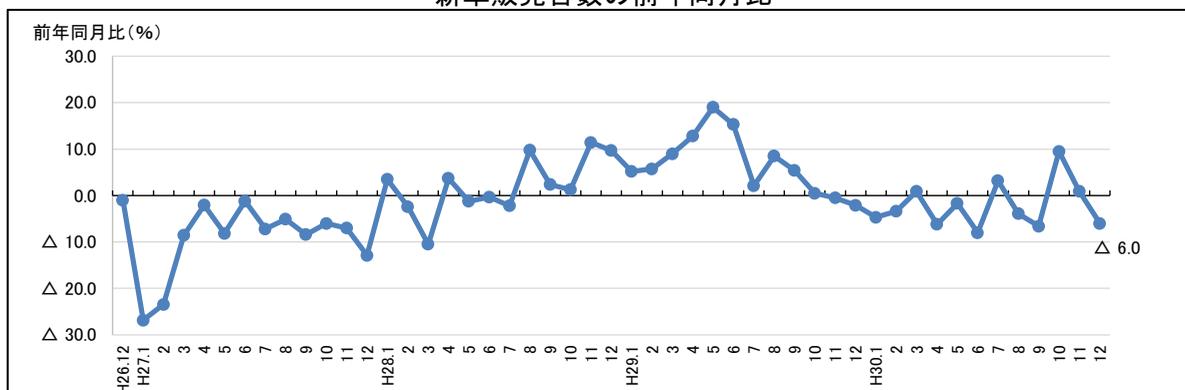


(資料：経済産業省)

新車登録台数（12月）

新車登録台数は、10,868台で前年同月比6.0%の減少となり、3か月ぶりに前年を下回った。車種別にみると、普通車は、3,818台で同7.3%の減少、小型車は、3,521台で同8.8%の減少、軽自動車は、3,529台で同1.6%の減少となった。

新車販売台数の前年同月比



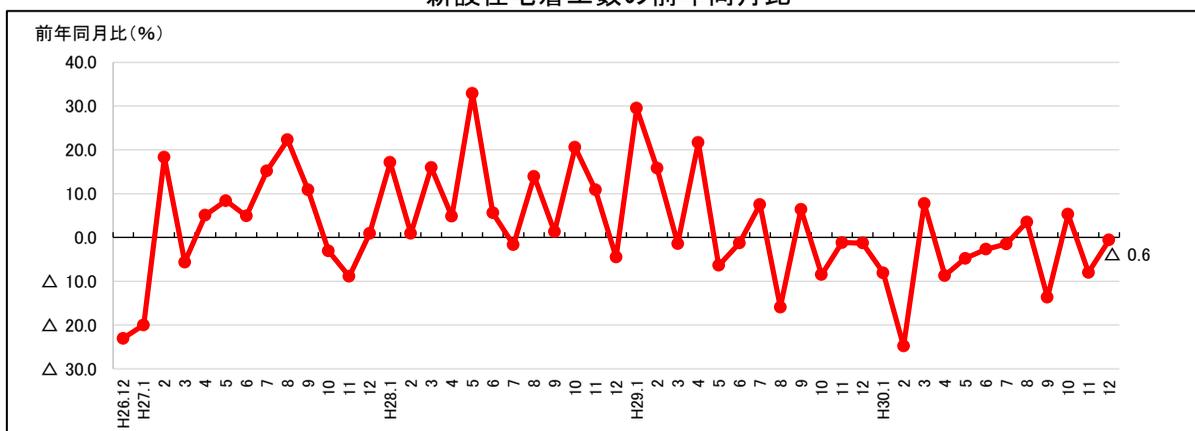
(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ

■住宅建設～弱い動きとなっている

新設住宅着工戸数（12月）

住宅着工戸数は、2,585戸で前年同月比0.6%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、持家は、946戸で同14.5%の増加、貸家は、1,333戸で同10.8%の減少、分譲住宅は、289戸で同4.7%の増加となった。

新設住宅着工数の前年同月比



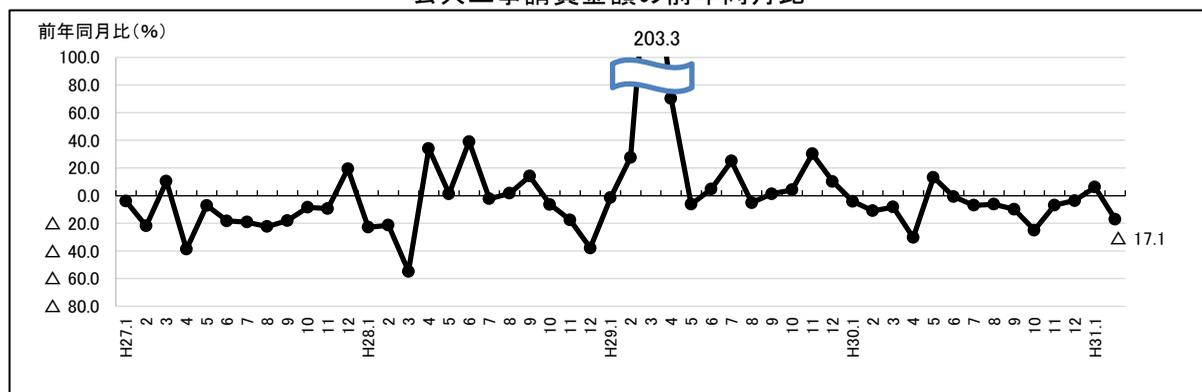
(資料：国土交通省)

■公共工事～減少している

公共工事請負金額（1月）

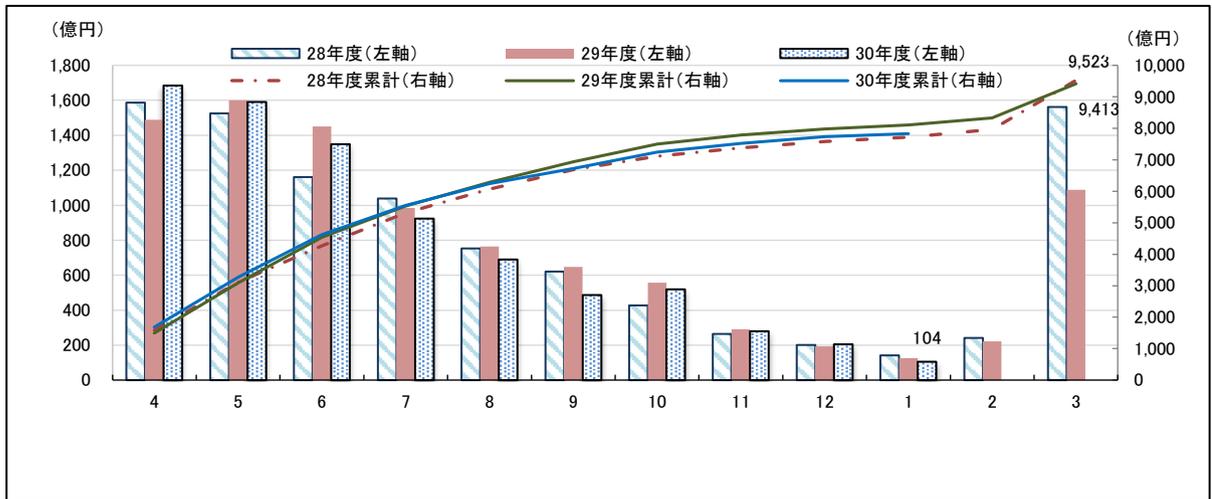
請負金額は、104億円で前年同月比17.1%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。

公共工事請負金額の前年同月比



(資料：(株)北海道建設業信用保証)

公共工事請負金額



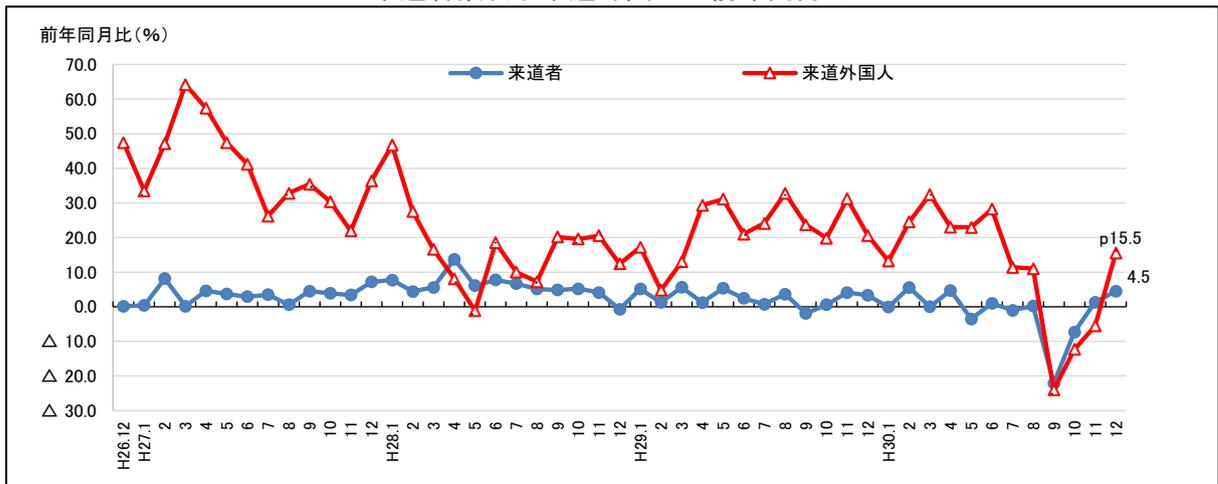
(資料：(株)北海道建設業信用保証)

■ 観光～回復している

来道者数(12月)

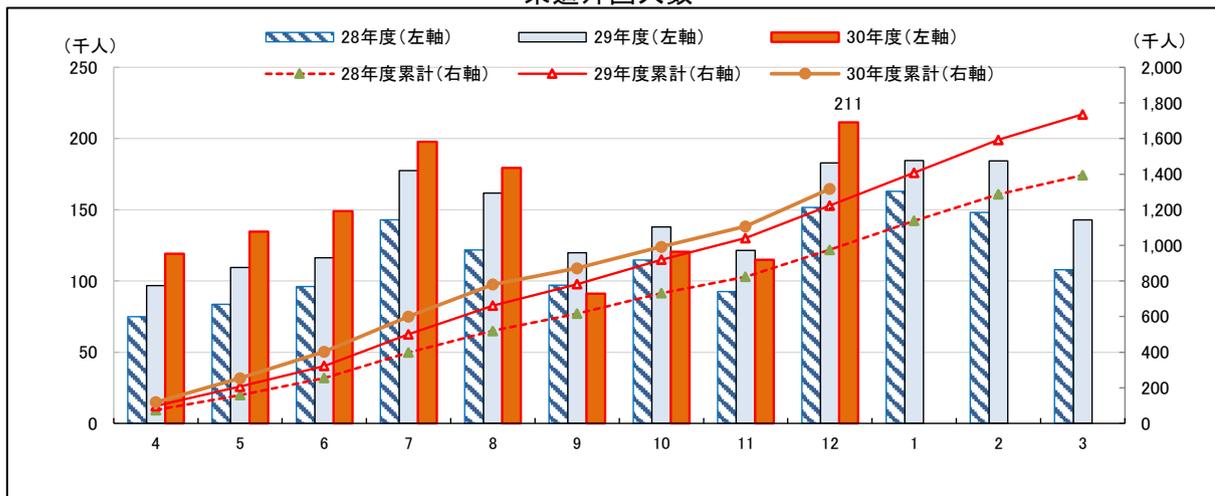
来道者数は、106万6千人で前年同月比4.5%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。本道に直接入国した外国人は、21万1千人で同15.5%の増加となり、4か月ぶりに前年を上回った。

来道者数及び来道外国人の前年同月比



(資料：(公社)北海道観光振興機構、法務省入国管理局)

来道外国人数



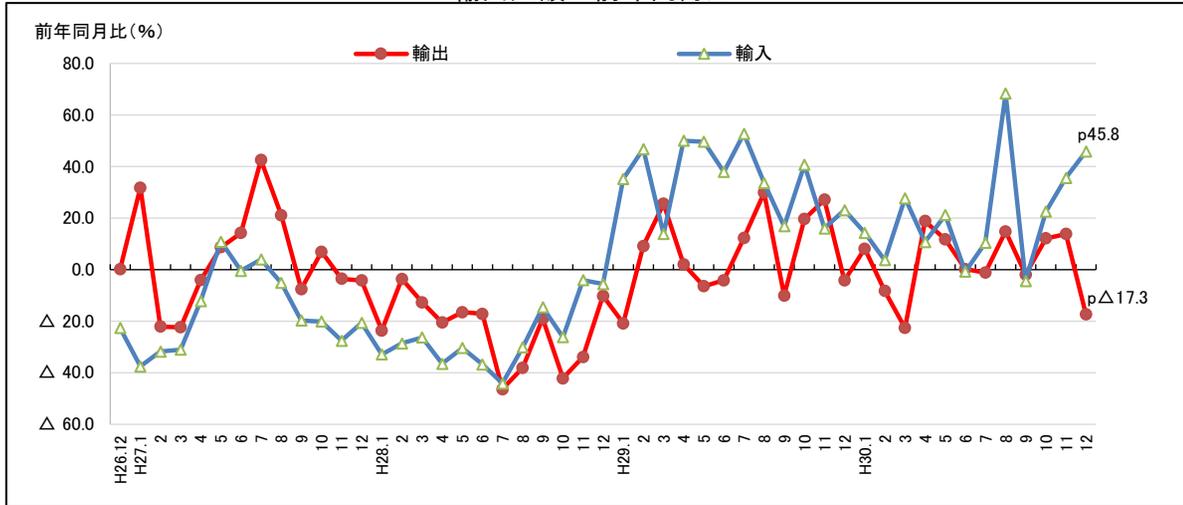
(資料：法務省入国管理局)

■輸出入～輸出額は前年を下回り、輸入額は前年を上回った

輸出入額（12月）

輸出額は、305億円で前年同月比17.3%の減少となり、3か月ぶりに前年を下回った。
 品目別にみると、自動車の部分品、鉄鋼、有機化合物などが減少した。
 輸入額は、1,813億円で同45.8%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。
 品目別にみると、航空機類、再輸入品、原油・粗油などが増加した。

輸出入額の前年同月比



(資料: 函館税関)

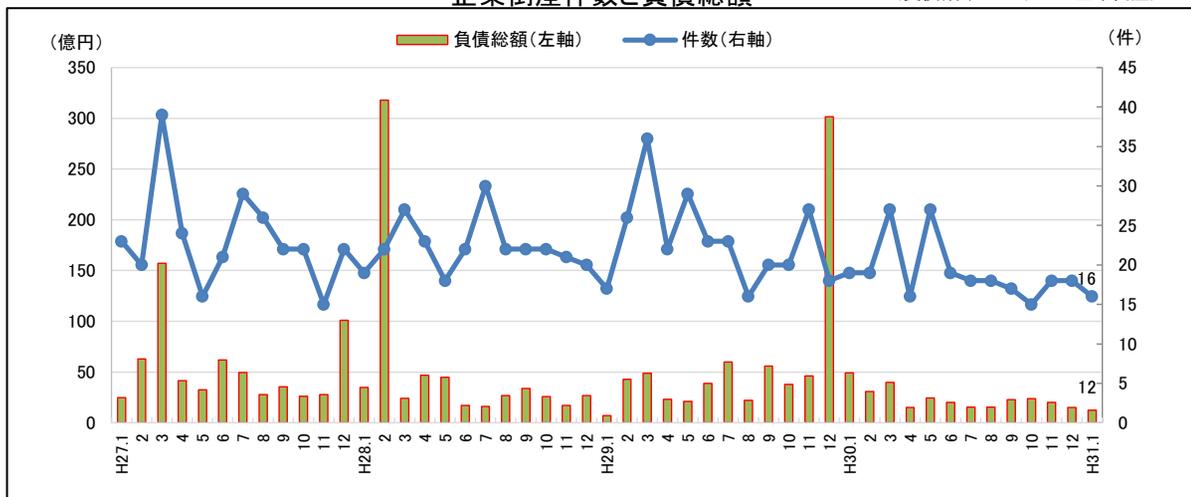
■企業倒産～倒産件数、負債総額とも減少した

企業倒産（1月）

企業倒産件数は、16件で前年同月比15.8%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回り、負債総額は、12億37百万円で同74.8%の減少となり、8か月連続で前年を下回った。
 原因別でみると、販売不振が12件(構成比 75.0%)と半数以上を占めた。
 業種別でみると、建設業が4件(同 25.0%)、サービス・他が3件(同18.8%)と続いた。

企業倒産件数と負債総額

(負債額1,000万以上の企業倒産)



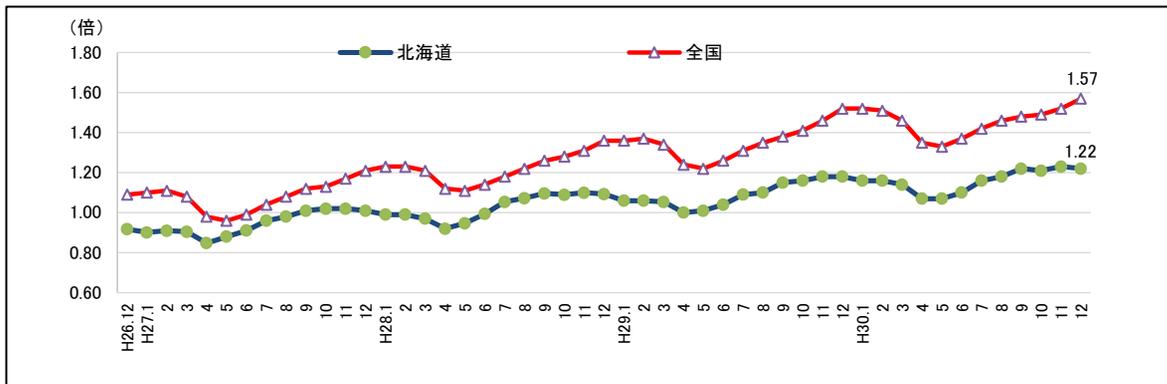
(資料: (株)東京商工リサーチ北海道支社)

■求人・求職～改善が進む中、人手不足感がみられる

月間有効求人数・求職者数・有効求人倍率（12月）

月間有効求人数は、8万7,875人で前年同月比2.1%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、7万1,913人で同1.0%の減少となり、86か月連続で前年を下回った。
 有効求人倍率は、1.22倍で前年同月差で0.04ポイントの増加となり、107か月連続で前年を上回った。

有効求人倍率(常用)



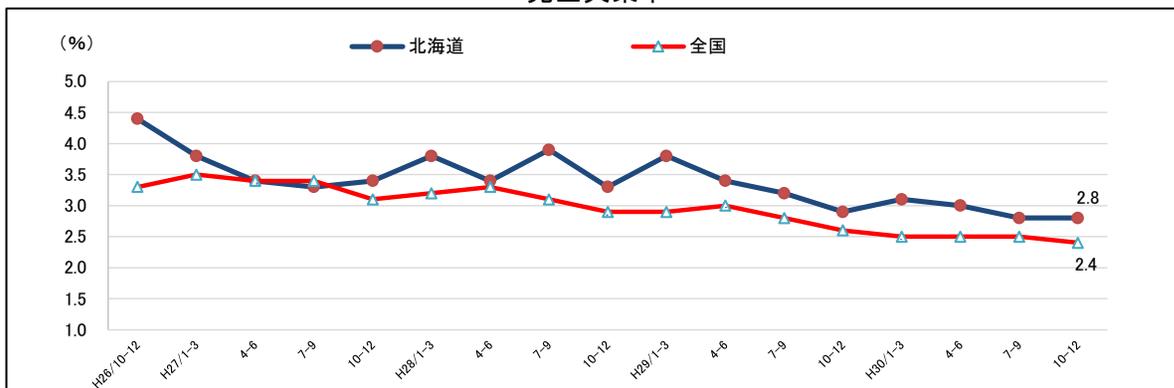
(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

■失 業

完全失業者数、完全失業率(30年10-12月期)

完全失業者数は、8万人で前年同期と比べ、同数となっている。
 完全失業率は、2.8%で前年同期と比べ、0.1ポイント低下となっている。

完全失業率



(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

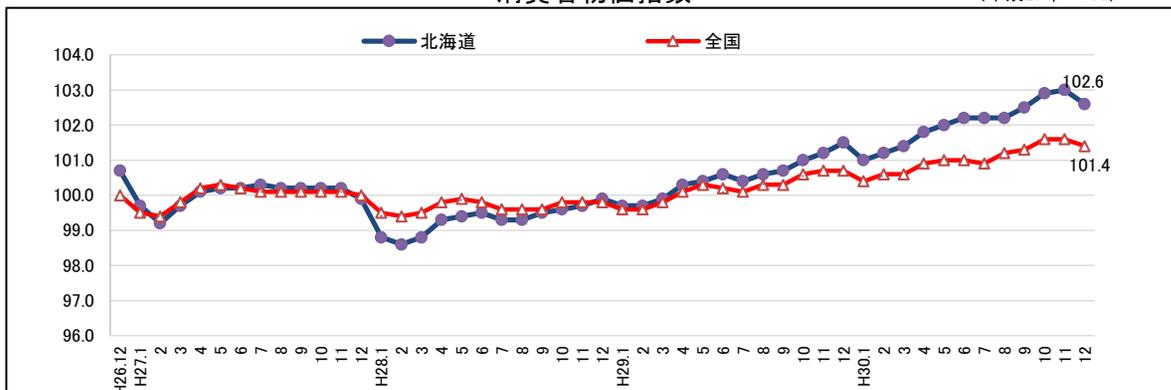
■物 価～消費者物価指数は前年を上回った

消費者物価指数(生鮮食品除く)(12月)

消費者物価指数は、102.6で前年同月比1.1%の上昇となり、25か月連続で前年を上回った。

消費者物価指数

(平成27年=100)



(資料:総務省)

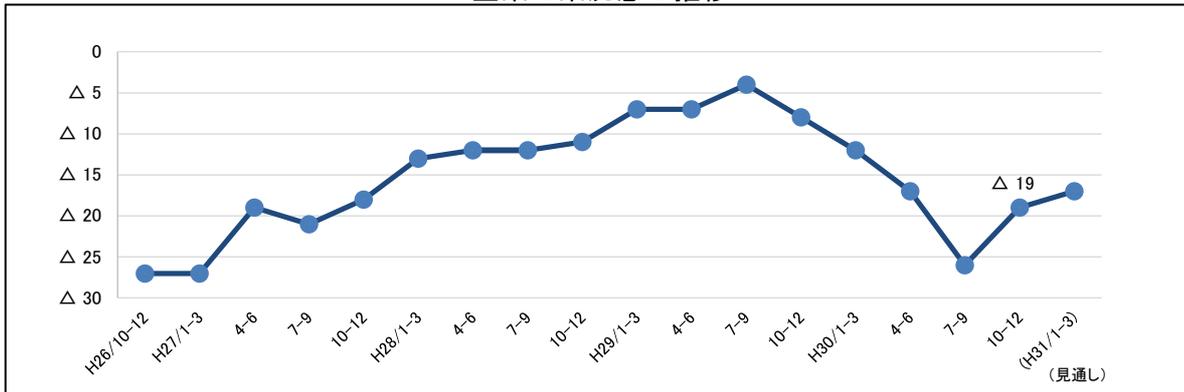
■企業の業況感

企業経営者意識調査（30年10-12月期）

今期の業況感BSIは、△19で前期から7ポイント上昇した。

- ・業種別では、すべての業種で上昇した。
- ・地域別では、道央、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室で上昇、道南で下降した。

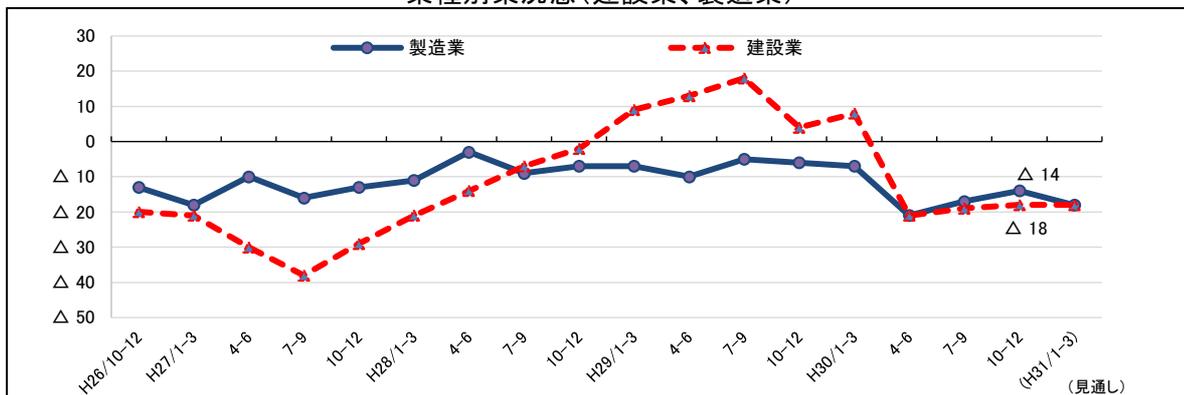
企業の業況感の推移



(見通し)

(資料:北海道)

業種別業況感(建設業、製造業)



(見通し)

【建設業】 1ポイント上昇 (前期 △19 → 今期 △18) (資料:北海道)

・管工事業(さく井工事業を除く)でプラス幅が拡大、木造建築工事業がプラスに転換、土木工事業や舗装工事業でマイナス幅が縮小

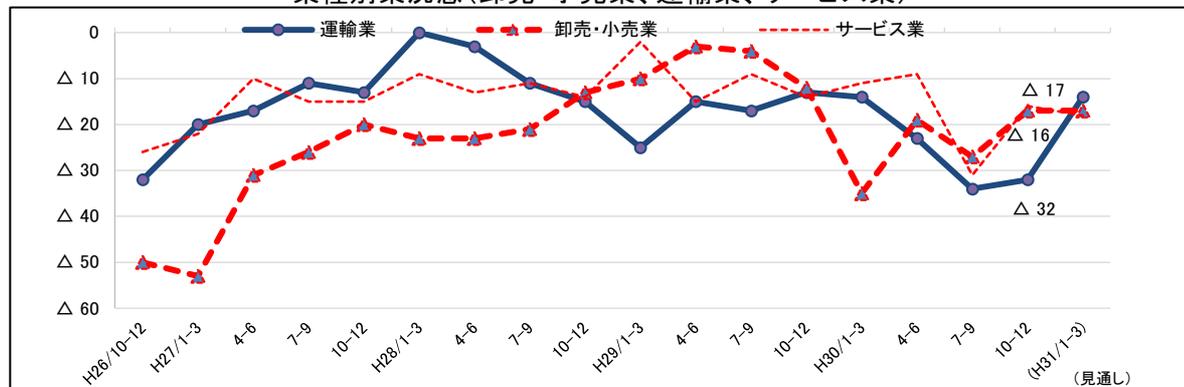
・一般土木建築工事業や建築工事業、電気工事業などでマイナス幅が拡大

【製造業】 3ポイント上昇 (前期 △17 → 今期 △14)

・パン・菓子製造業やその他の食料品製造業、畜産食料品製造業などでマイナス幅が縮小

・水産食料品製造業や飼料・有機質肥料製造業などでプラス幅が縮小、建設用・建築用金属製品製造業がマイナスに転換、セメント・同製品製造業や製材業・木製品製造業などでマイナス幅が拡大

業種別業況感(卸売・小売業、運輸業、サービス業)



(見通し)

【卸売・小売業】 10ポイント上昇 (前期 △27 → 今期 △17) (資料:北海道)

・鉄鋼品製品卸売業などでプラス幅が拡大

・自動車小売業や化学製品卸売業、電気機械器具卸売業がプラスに転換

・機械器具小売業や婦人・子供服小売業、パン・菓子小売業などでマイナス幅が縮小

【運輸業】 2ポイント上昇 (前期 △34 → 今期 △32)

・一般貨物自動車運送業や一般乗合旅客自動車運送業、冷蔵倉庫業でマイナス幅が縮小

・一般乗用旅客自動車運送業や倉庫業でマイナス幅が拡大

【サービス業】 15ポイント上昇 (前期 △31 → 今期 △16)

・産業用機械器具賃貸業や産業廃棄物処理業でプラス幅が拡大、獣医業がプラスに転換

・旅館・ホテル業や自動車整備業、ソフトウェア業などでマイナス幅が縮小

[企業情報]

□企業のみなさまから伺いました

◆百貨店（道央地域）

【セール等で苦戦したが、業績は堅調に推移】

1月は、購入に慎重なお客が増えていることから、初売りやクリアランスセール等で苦戦したが、今年の春節が2月5日（火）だったことで、1月後半からインバウンドの来店者が増え、化粧品や特選ブランド等の免税売上が伸びたことから、業績は堅調に推移した。

◆スーパー（道央地域）

【大きなイベントはなかったが売上や来店客数は前年並み】

1月は、大きなイベントはなかったが、売上、客数、客単価や買い上げ点数については、前年並みとなった。

販促として、力を入れている商品を手に取ってもらえるように、売り場を見直すなどの工夫に取り組んでおり、好評を得ている。

野菜については、昨年と比べて単価が落ち着き、買いやすくなっていることから、点数も伸びている。

◆コンビニエンスストア（道央地域）

【年始休みの長期化により動きは遅い】

1月は、天候による大きな影響はみられなかったものの、企業の年始休みが長期化していることもあり、特に都市部では年始の動き出しが遅かったが、共働き世帯の増加などの影響により、弁当や惣菜などは堅調に推移しており、売上は前年並みを維持できた。観光地では、例年並みの動きとなるなど、震災の影響はほぼなくなったと感じている。

【キャッシュレス決済が徐々に増加】

電子マネーやスマホ決済などのキャッシュレス決済が徐々に増加している。業界としても、キャッシュレス決済は現金を扱わず、レジ作業の軽減につながることから、積極的に取り組んでいる。

◆自動車関係団体（道央地域）

【平成30年の新車登録状況】

平成29年1～6月の新車登録台数（以下、「登録台数」という。）は、前年比二桁台の大きい伸び率だったことから、30年は反動減で伸び率が低下したが、28年と比べると、登録台数は増加しており、大きく悲観する数値ではないと思われる。

30年の普通車、小型車は対前年比マイナスだったが、軽自動車は、地方の交通手段として、女性や高齢者の軽自動車に対する重要度が高まっていることから、プラスとなり、比率は3割を超えて伸びている。

【消費税増税の駆け込み需要】

登録台数は一般的に3月に1番多く、10月から落ち込む傾向であるが、今回の増税は、10月なので、冬を迎える前に自動車の購買需要が強くなるのか、加えて、自動車税制の複雑な改正もあって予想しづらいところ。

26年4月の増税から5年が経過しており、春先の2回目の車検を期に、代替え購入の需要も予想される。

◆建設業（道央地域）

【最近の売上状況】

30年度は、北海道新幹線のトンネル工事などの公共工事のほか、建築工事などの民間工事の受注も好調となっており、これからの受注分も含めると、29年度を上回る見通しとなっている。

【先行き】

31年度は、胆振東部地震の復旧工事が見込まれるが、その他の受注については、例年通りと推測する。

◆旅館、ホテル（道北地域）

【災害等で一時的な落ち込みはあったものの、業績は堅調】

売上だけをみると昨年よりも減少している。災害等による宿泊キャンセルも大きいですが、館内改修工事のため、一部の客室を稼働できなかったことも要因であるため、業績そのものは堅調に推移していると考えている。

サービスが商品の業界にとって、人は必要不可欠だと考えており、外国人雇用など解決策を模索中である。

また、インバウンドは今後も増えると考えているが、国際的な動きにより、宿泊者数は大きく変動する。インバウンドを減少させるような動きがないことを期待する。

◆酒類製造業（道北地域）

【業績は堅調に推移しているが、人手不足が深刻】

売上については年々増加傾向にあり、業績は堅調に推移しているが、製造部門の人手不足が深刻な問題となっている。

また、地震による停電の直接的な被害は特になかったものの、観光客の減少が直売店等の売上に大きく影響した。

今後、今以上に品質向上を目指し、より地酒を飲んでいただけるような活動を展開していく。

◆家具製造業（道北地域）

【業界内で市場ニーズや人手不足の二極化が進む】

業界全体では、国内の住宅着工件数減少に連動した需要の量的変化のほか、ファストインテリア等の廉価家具と高級家具の二極化が顕在化してきている。

人手についても採用面で二極化の傾向にあり、このような企業間格差が広がると、技術や事業継承面で産地自体の衰退につながるのではと心配している。

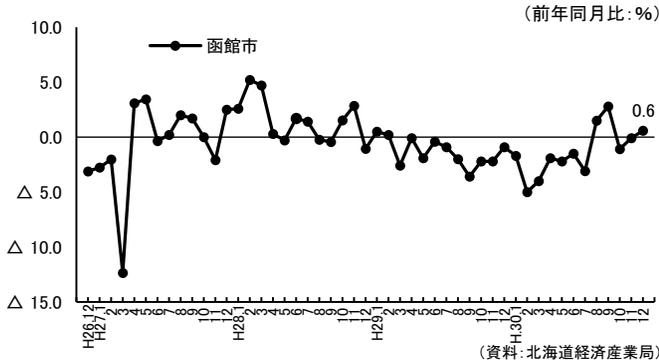
これからは、今まで以上に「品質」や「デザイン性」を高めるなど、業界が一丸となって産地ブランド力の強化、向上に努めていきたい。

[地域の経済動向]

■道南地域(渡島、檜山)

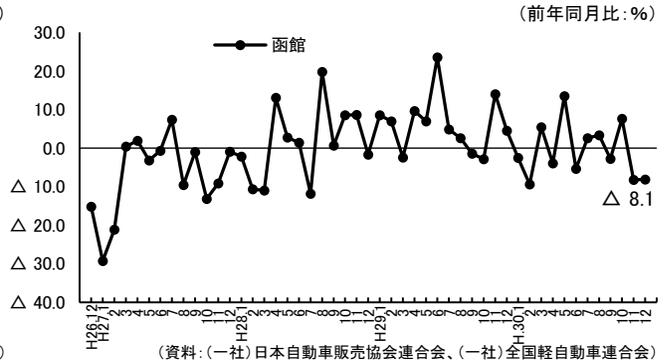
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(12月)

3か月ぶりに前年を上回った



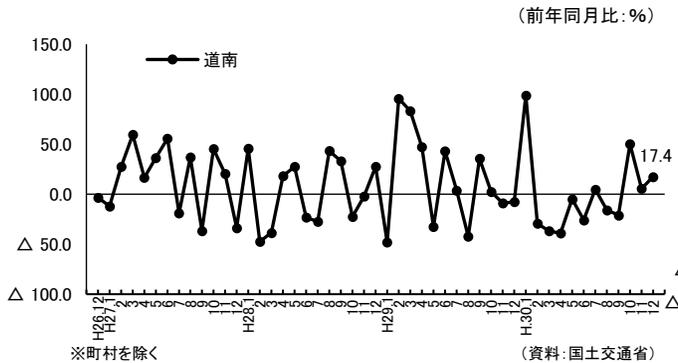
◆新車登録台数(乗用車)(12月)

2か月連続で前年を下回った



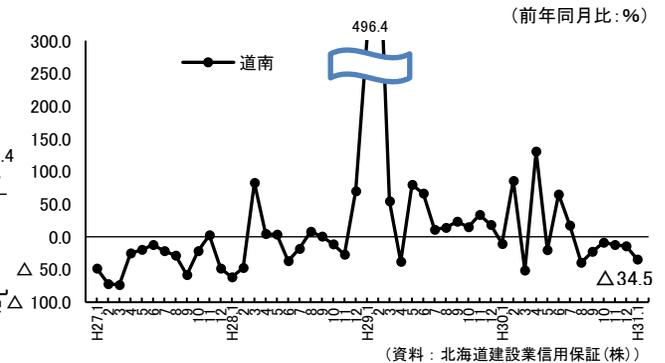
◆新設住宅着工戸数(12月)

3か月連続で前年を上回った



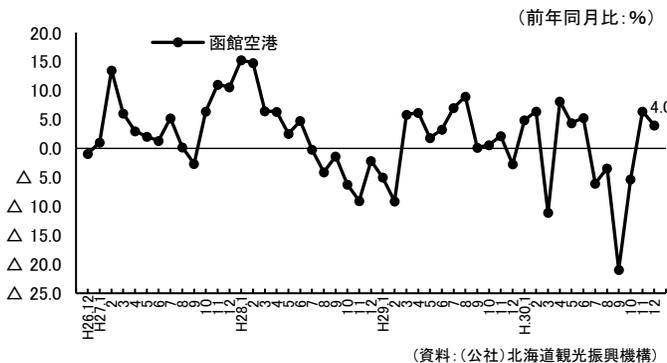
◆公共工事請負金額(1月)

6か月連続で前年を下回った



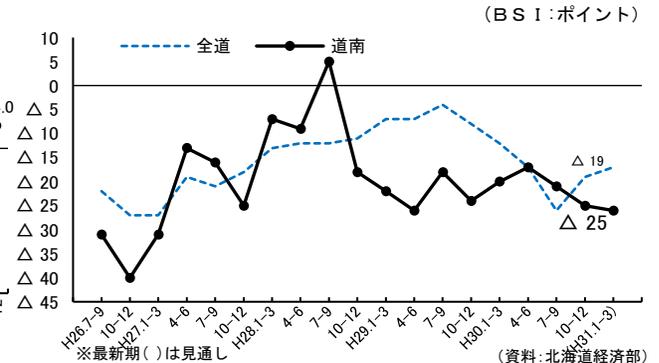
◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)

2か月連続で前年を上回った



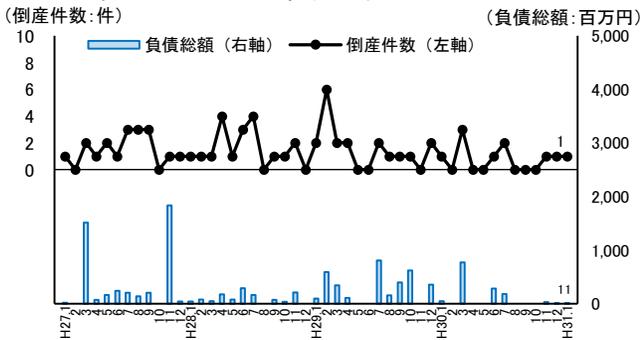
◆企業の業況感(10-12月期)

前期からマイナス幅が拡大した



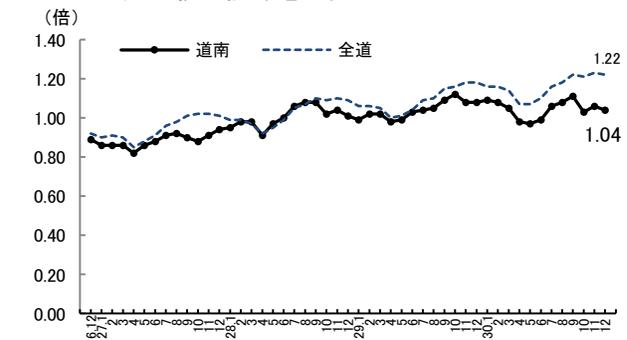
◆企業倒産件数・負債総額(1月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(12月)

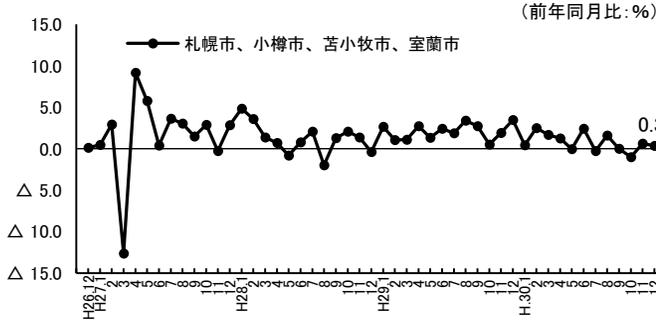
3か月連続で前年を下回った



■道央地域（石狩、空知、後志、胆振、日高）

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(12月)

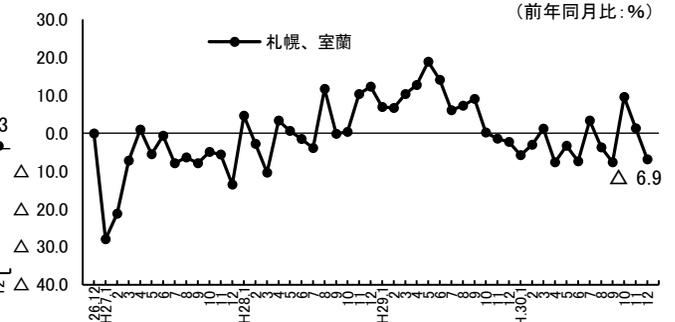
2か月連続で前年を上回った



(資料:北海道経済産業局)

◆新車登録台数(乗用車)(12月)

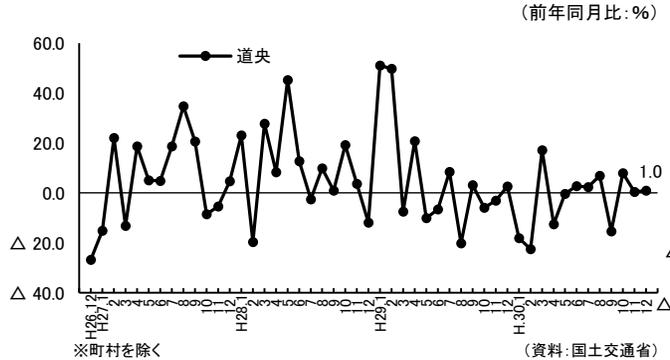
3か月ぶりに前年を下回った



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数(12月)

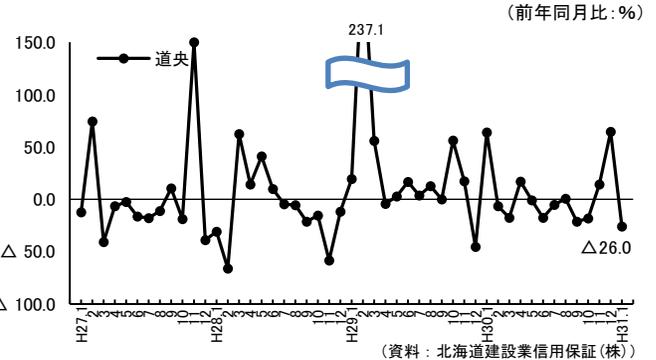
3か月連続で前年を上回った



(資料:国土交通省)

◆公共工事請負金額(1月)

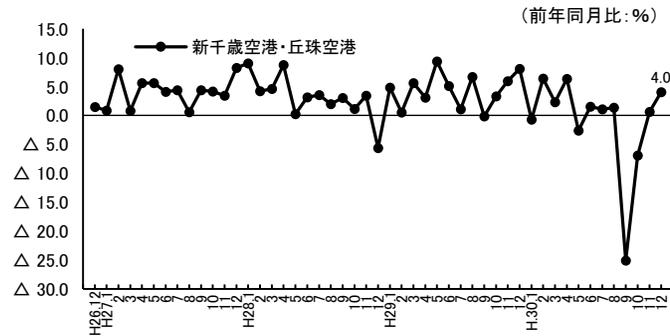
3か月ぶりに前年を下回った



(資料:北海道建設業信用保証(株))

◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)

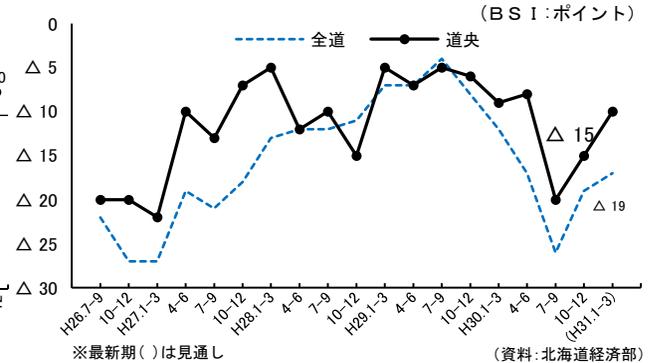
2か月連続で前年を上回った



(資料:(公社)北海道観光振興機構)

◆企業の業況感(10-12月期)

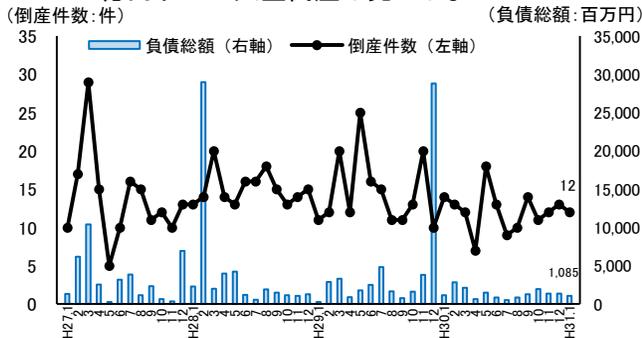
前期からマイナス幅が縮小した



(資料:北海道経済部)

◆企業倒産件数・負債総額(1月)

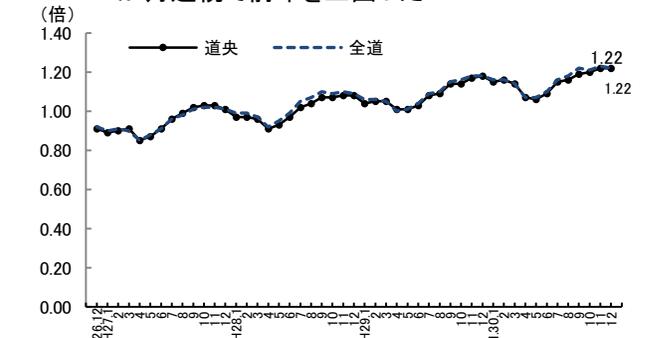
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社)

◆有効求人倍率(常用)(12月)

106か月連続で前年を上回った

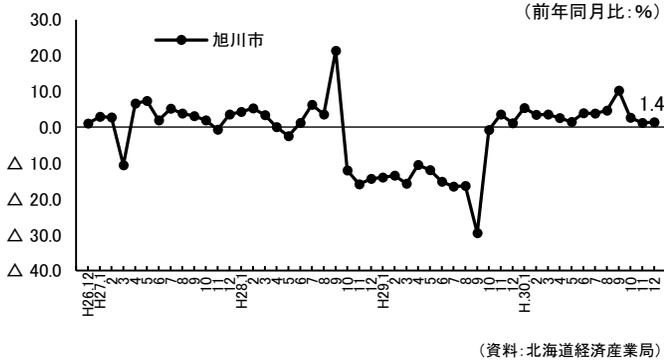


(資料:北海道労働局)

道北地域(留萌、上川、宗谷)

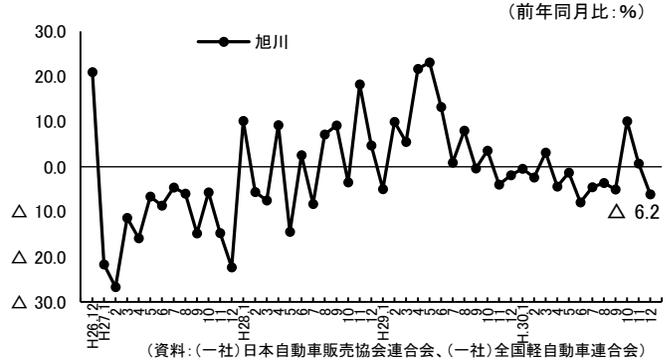
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(12月)

14か月連続で前年を上回った



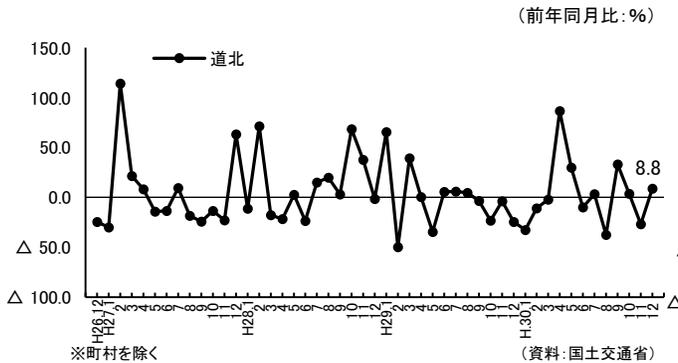
◆新車登録台数(乗用車)(12月)

3か月ぶりに前年を下回った



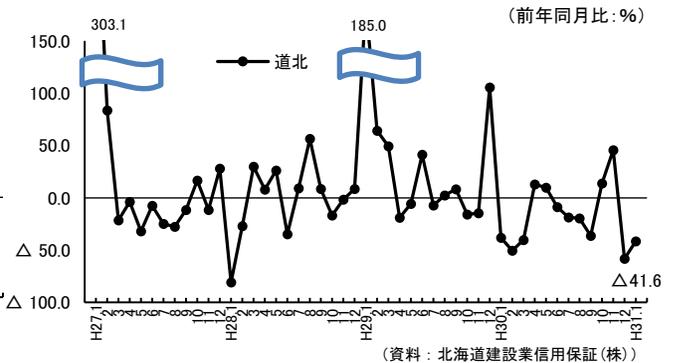
◆新設住宅着工戸数(12月)

2か月ぶりに前年を上回った



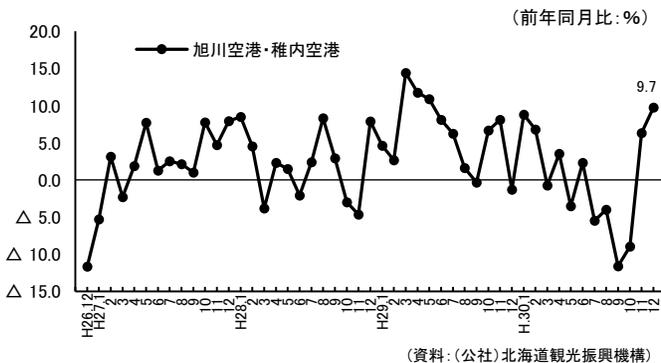
◆公共工事請負金額(1月)

2か月連続で前年を下回った



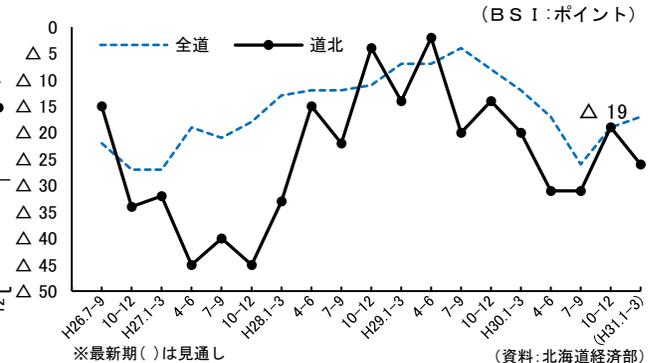
◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)

2か月連続で前年を上回った



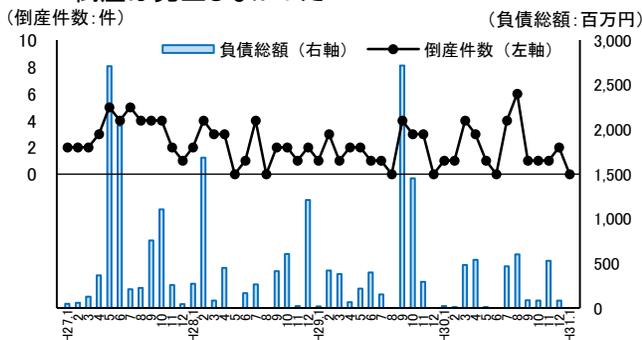
◆企業の業況感(10-12月期)

前期からマイナス幅が縮小した



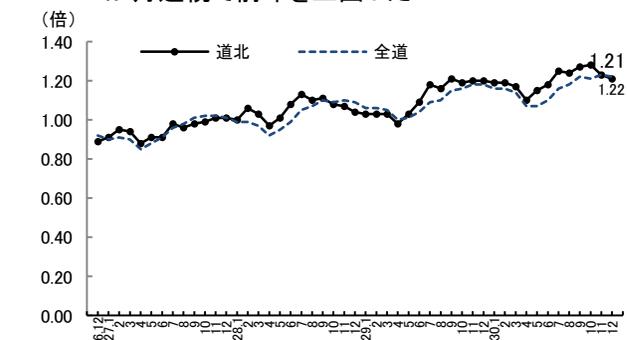
◆企業倒産件数・負債総額(1月)

倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(12月)

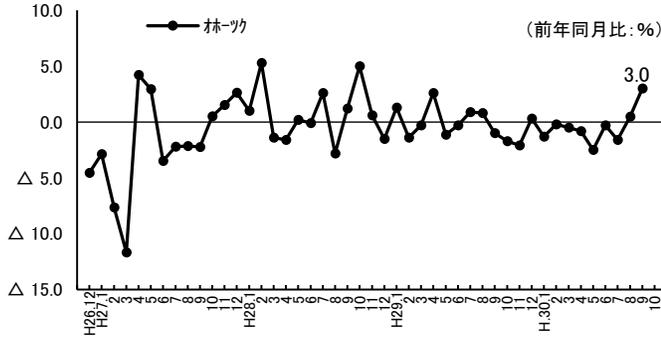
21か月連続で前年を上回った



オホーツク地域

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(9月)

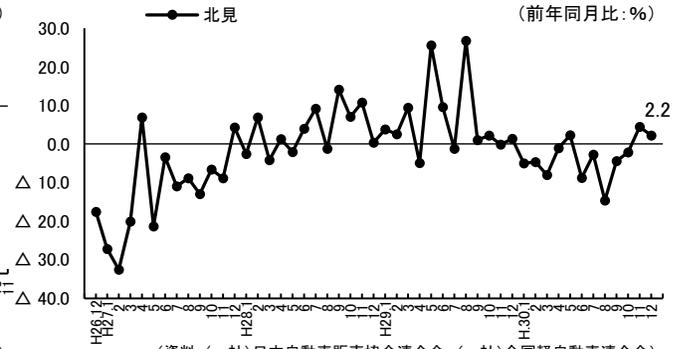
2か月連続で前年を上回った



(資料:北海道財務局北見出張所)

◆新車登録台数(乗用車)(12月)

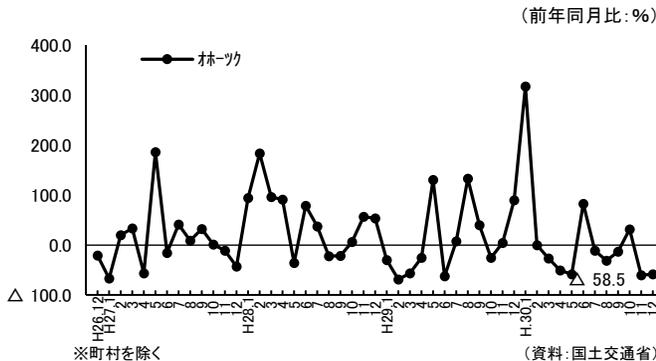
2か月連続で前年を上回った



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数(12月)

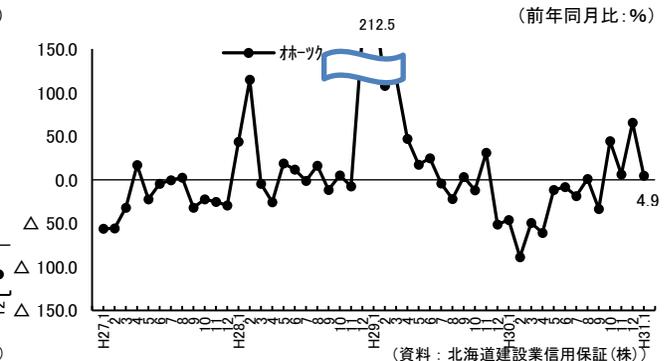
2か月連続で前年を下回った



(資料:国土交通省)

◆公共工事請負金額(1月)

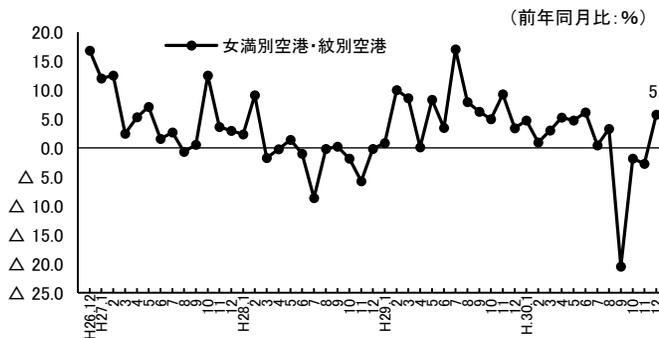
4か月連続で前年を上回った



(資料:北海道建設業信用保証(株))

◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)

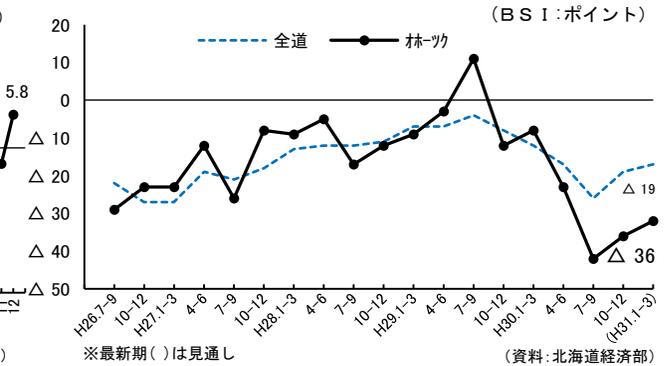
4か月ぶりに前年を上回った



(資料:(公社)北海道観光振興機構)

◆企業の業況感(10-12月期)

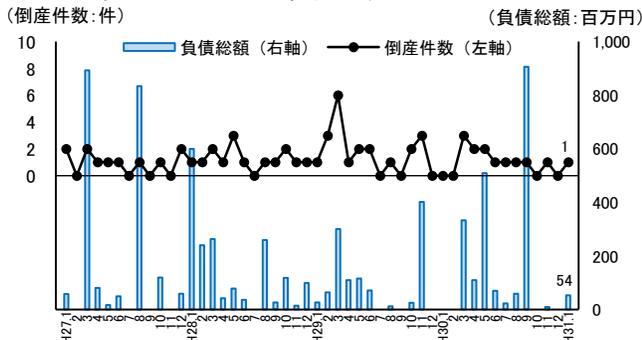
前期からマイナス幅が縮小した



(資料:北海道経済部)

◆企業倒産件数・負債総額(1月)

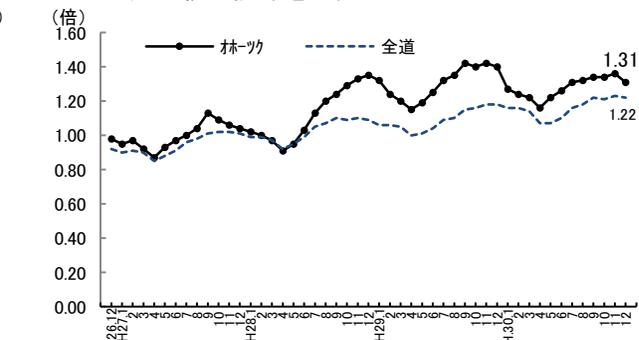
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社) - 14 -

◆有効求人倍率(常用)(12月)

6か月連続で前年を下回った

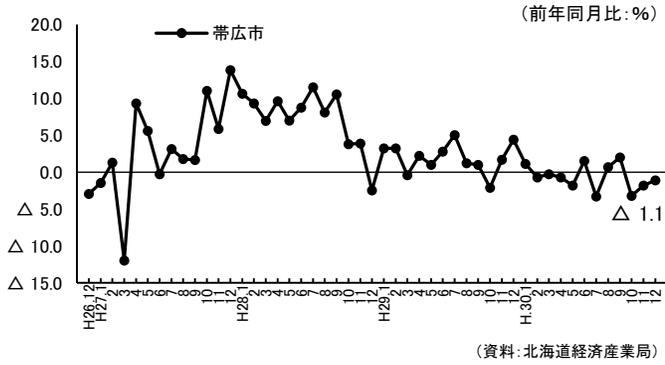


(資料:北海道労働局)

■十勝地域

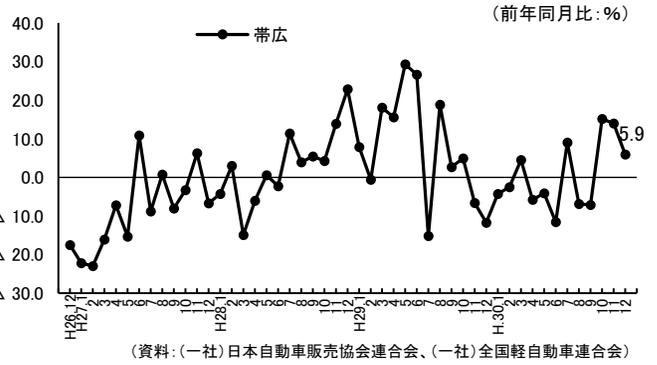
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(12月)

3か月連続で前年を下回った



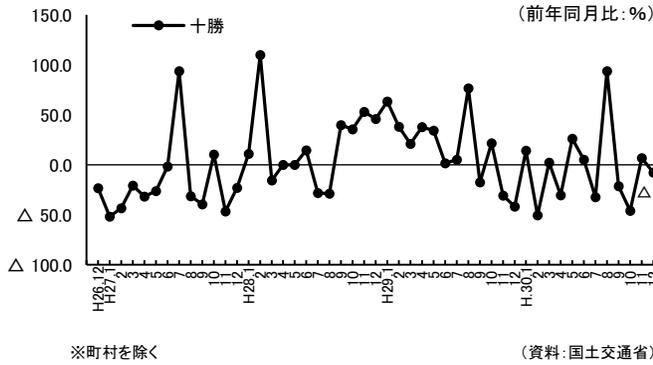
◆新車登録台数(乗用車)(12月)

3か月連続で前年を上回った



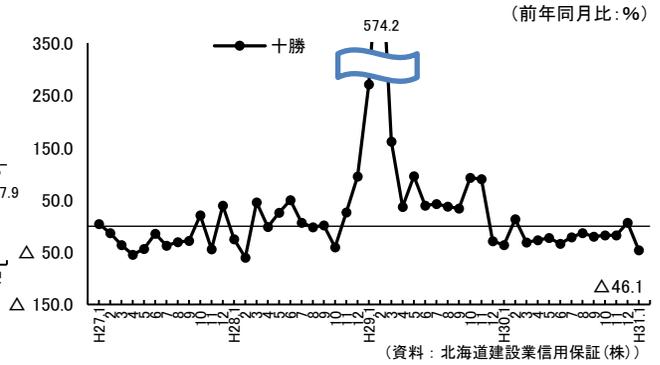
◆新設住宅着工戸数(12月)

2か月ぶりに前年を下回った



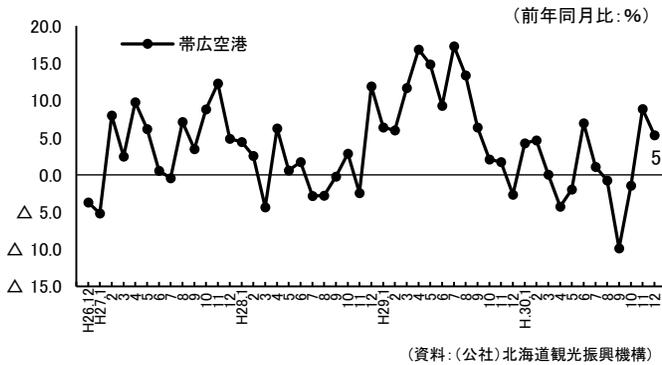
◆公共工事請負金額(1月)

2か月ぶりに前年を下回った



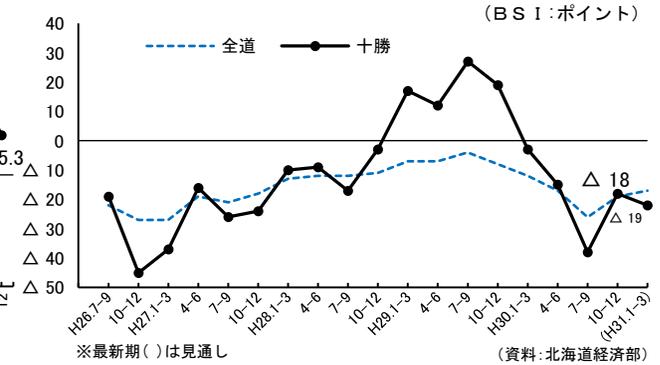
◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)

2か月連続で前年を上回った



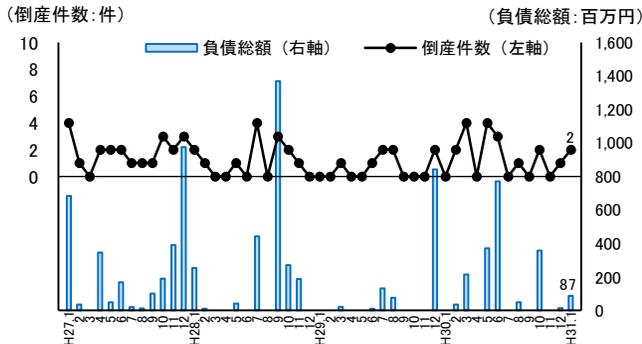
◆企業の業況感(10-12月期)

前期からマイナス幅が縮小した



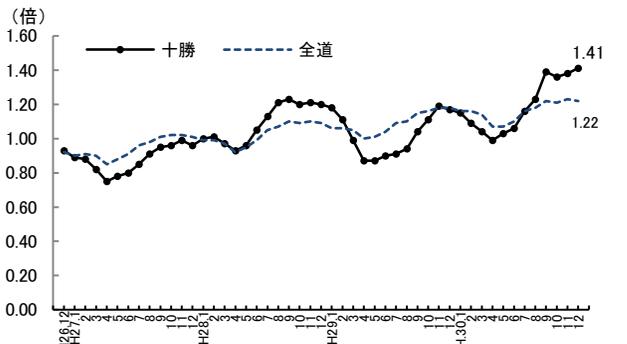
◆企業倒産件数・負債総額(1月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(12月)

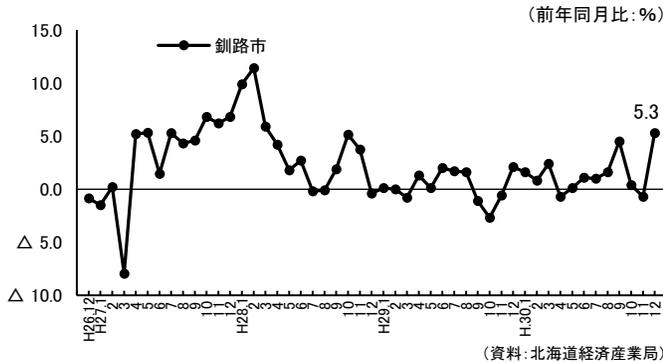
10か月連続で前年を上回った



釧路・根室地域

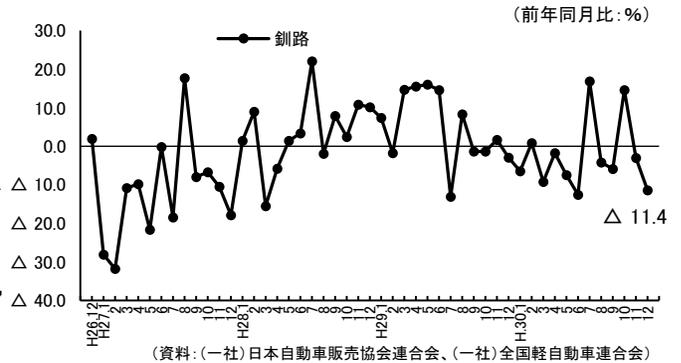
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(12月)

2か月ぶりに前年を上回った



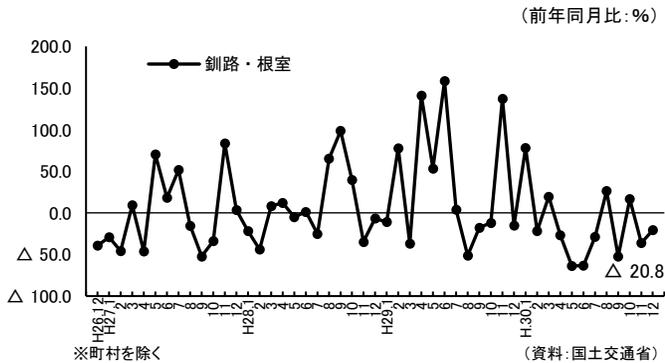
◆新車登録台数(乗用車)(12月)

2か月連続で前年を下回った



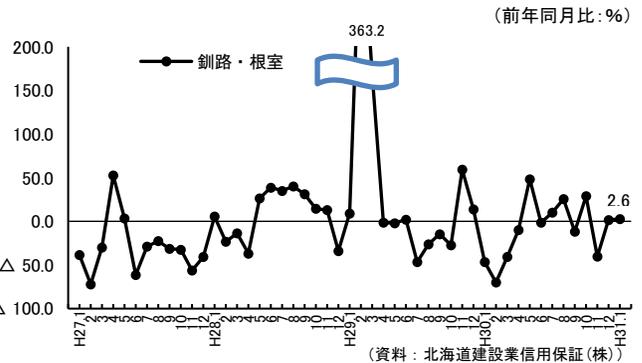
◆新設住宅着工戸数(12月)

2か月連続で前年を下回った



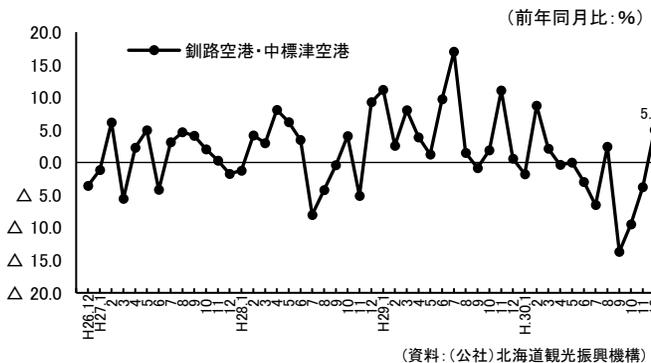
◆公共工事請負金額(1月)

2か月連続で前年を上回った



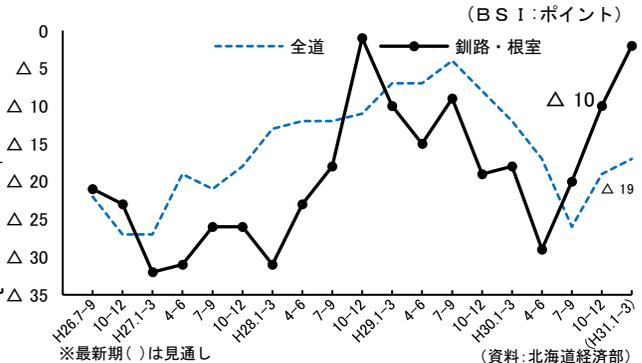
◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)

4か月ぶりに前年を上回った



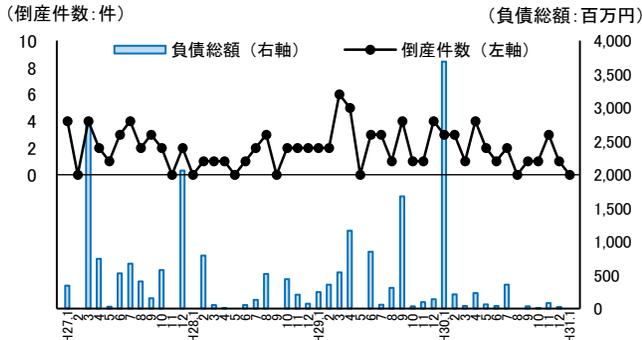
◆企業の業況感(10-12月期)

前期からマイナス幅が縮小した



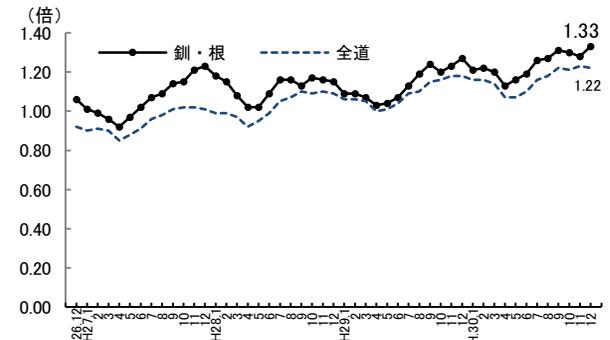
◆企業倒産件数・負債総額(1月)

倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(12月)

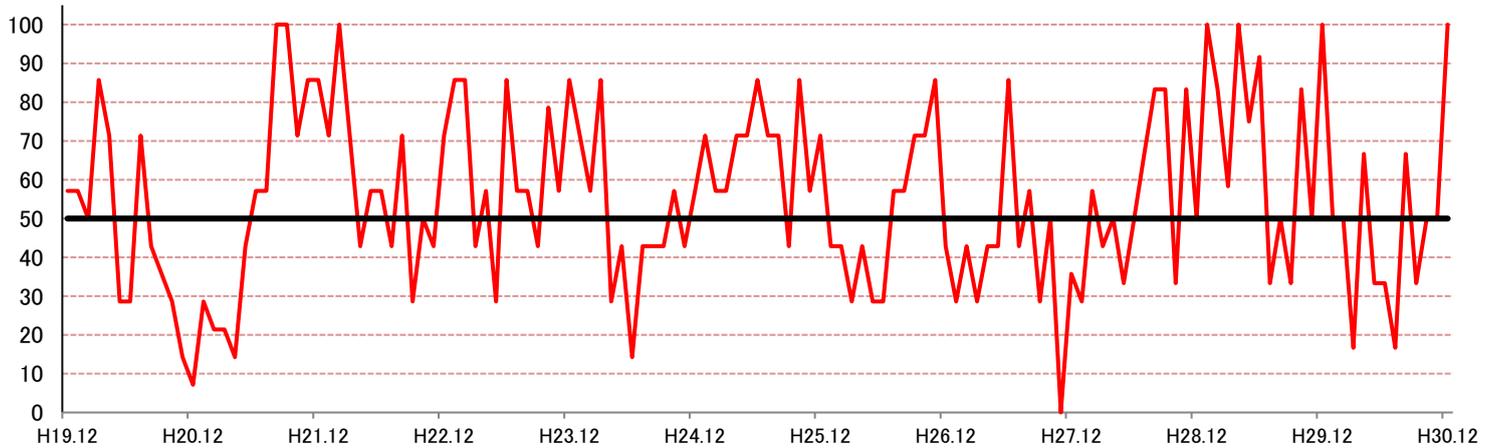
17か月連続で前年を上回った



[景気動向指数]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系列名		29/ 12月	30/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
先行系	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	-	-	-	+	+	+	-	+	-	+	+	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	+	+	+	+	-	-	-	-	+	-	+	-	+
	生産指数(生産財)	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	r -	p +
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-	+	+	-
	新設住宅着工戸数	-	+	-	+	-	+	-	-	-	-	+	-	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	-	-	+	+	+	-	+	+	+	+	-	+	-
	企業業況判断D.I.	0	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	-
	拡張系列数	3.5	2	2	3	5	5	4	1	3	1	4	3	4
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	50.0	28.6	28.6	42.9	71.4	71.4	57.1	14.3	42.9	14.3	57.1	r 42.9	p 57.1
一致系	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	+	+
	生産指数(鉱工業)	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	r +	p +
	出荷指数(生産財)	+	-	-	-	+	+	-	-	-	-	-	r -	p +
	百貨店販売額(既存店)	+	-	-	-	+	-	+	-	+	-	+	r +	p +
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	+	+	-	-	-	-	-	+	-	-	-	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	+	+	-	+	-	-	+	+	+	+	r -	p +
	拡張系列数	6	3	3	1	4	2	2	1	4	2	3	3	6
	採用系列数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	一致指数	100.0	50.0	50.0	16.7	66.7	33.3	33.3	16.7	66.7	33.3	50.0	r 50.0	p 100.0
	遅行系	常用雇用指数(規模30人以上)	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-
完全失業率(逆サイクル)		-	+	+	+	-	-	-	0	0	0	-	-	-
消費者物価指数(総合)		+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-
家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)		-	+	-	+	-	+	-	+	+	-	-	-	+
生産指数(資本財)		+	+	-	+	-	+	+	+	-	-	+	r +	p +
拡張系列数		3	4	2	4	1	3	2	3.5	2.5	1.5	2	1	2
採用系列数		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数		60.0	80.0	40.0	80.0	20.0	60.0	40.0	70.0	50.0	30.0	40.0	r 20.0	p 50.0

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の高・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向
平成31年2月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>